

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(地理的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新編 新しい社会 地理
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① □ 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『もっと解説』に掲載されている。</p> <p>② □ 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アフリカ州ではどのような支援が必要かを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ】に設定されている。</p> <p>③ □ 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、都道府県の境界に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【もっと知りたい!】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ □ [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『防災・減災に向けた取り組みと課題』に掲載されている。</p> <p>⑤ □ [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信網の普及を扱った内容が『通信網の発達と生活の変化』に掲載されている。</p> <p>⑥ □ [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【持続可能な地域の在り方】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ □ 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『課題をつかむ』『課題を追究する』『課題を解決する』に掲載されている。</p> <p>⑧ □ カリキュラム・マネジメントについて、大気の動きと日本の天気といった理科との関連が『他分野・他教科との関連を図った学習』のマークに掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ □ 言語能力の育成について、日本のイメージを伝える手紙を書く学習活動が【みんなでチャレンジ】に設定されている。</p> <p>⑩ □ 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な生活・文化はどのように現代に生かされているかを考える学習活動が【伝統行事と生活・文化】に設定されている。</p> <p>⑪ □ 体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調査するための準備を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。</p> <p>⑫ □ 学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校で学んだ学習内容が『小学校の社会で習ったことば』に掲載されている。</p> <p>⑬ □ 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【資料から発見!】に設定されている。</p> <p>⑭ □ 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習過程における動機づけや考える道すじがキャラクターによるつぶやきに掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ □ 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【チェック&トライ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ □ 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界各地の人々の生活に関する内容をもとに考える学習活動が【世界旅行を企画しよう】に設定されている。</p> <p>⑰ □ 多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカ州の開発と環境保全を考える学習活動が【探究課題】に設定されている。</p> <p>⑱ □ 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、日本の地域的な特色を考える学習活動が【探究のステップ】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ □ 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。</p> <p>⑳ □ 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ □ 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 << 社会 (地理的分野) >>

※詳細については、資料 II (地理的分野-5~地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学社会 地理 地域にまなぶ
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の諸地域の他地域との結びつきや州の特徴を考える学習活動が【章を見通した学習課題】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、近畿地方や中部地方に関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【持続可能な社会に向けて】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災の経験を未来に生かす』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信技術(ICT)の発達を扱った内容が『交通・通信による結びつき』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p><< 教科・種目共通の観点 >></p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す4つのステップが『導入』『…をながめて』『本編』『学習のまとめと表現』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、地球環境問題といった理科にかかわる内容が『関連』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、中国・四国地方の学習をバタフライチャートにまとめる学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の祭りにはどのような背景があるのかを考える学習活動が【現代に生きる地域文化】に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調べ解決方法を考える学習活動が【地域調査の方法を学ぼう】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『地理にアプローチ』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【THINK!】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、学びの道すがりが学習のまとめりにキャラクターのつぶやきに掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【まなびリンク】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p><< 各教科・種目別の観点 >> (それぞれの教科・種目の観点は観点-2~5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界の諸地域の結びつきや特徴をもとに考える学習活動が【見方・考え方をはたらかそう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカで自然破壊や都市の人口増加が進むことによる課題を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、関東地方の特色を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名 ≪社会(地理的分野)≫

※詳細については、資料 II (地理的分野-5～地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	帝国	書名	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『解説』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持続可能な観光の在り方を考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、中央アジアや西アジアに関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【未来に向けて】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『自然災害から命を守ろう』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、高速通信網の整備を扱った内容が『日本の交通網・通信網』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>≪教科・種目共通の観点≫</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す2つのステップが『単元の見通し』や『単元の振り返り』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野、数学科で学ぶ事項が『小学校・歴史・公民・他教科との関連』に掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、アフリカ州の課題解決に向けて最優先で行う取組を考え、発表する学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な祭りや行事と人々の生活との関連を考察する学習活動が【伝統行事と生活や文化の変化】に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、学校周辺の地域を調査し、その特色を考察する学習活動が【地域調査のしかた】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の社会科で学んだ事柄と3分野との関連が『地理的分野の学習の全体像』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【やってみよう】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、社会への興味・関心を広げ、学習の道すじを示す内容が『とびら』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【図解アニメーション】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>≪各教科・種目別の観点≫(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人々の生活と環境に関して学んだ内容を生かして振り返る学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカ州では特定の物産に頼る経済の影響を考察する学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、地域に適した再生可能エネルギーについて考察する学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』『地域のあり方』の全4部で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『特別支援教育やユニバーサルデザイン(UD)の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《社会(地理的分野)》

※詳細については、資料Ⅱ(地理的分野-5～地理的分野-10)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学社会 地理的分野
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連			<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、EUの統合が進むことによる影響と課題を考える学習活動が【自分の考えをまとめよう】に設定されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日本の領域に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【地理+α】に設定されている。</p>
2 かながわ教育ビジョンとの関連			<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> [思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災からの復興と災害に強い地域づくり』に掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> [たくましく生きる力]の「情報化」について、通信情報技術(ICT)の進歩を扱った内容が『交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分』に掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> [社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域の在り方】に設定されている。</p>
3 内容と構成			<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野で学ぶ内容が『小学校の学習や歴史や公民の学習とのつながり』のマークに掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、関東地方における一極集中の課題を解決するためディベートをする学習活動が【議論してみよう】に設定されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統文化や伝統産業がどのように変化しているかを考える学習活動が【伝統文化の維持と革新】に設定されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校での既習事項が『小学校で学習した内容』に掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【スキルUP】に設定されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習課題をつかむための内容が『キャラクターのつぶやき』に掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ポートフォリオ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、地域の自然環境の中で生きる人々の生活の工夫や変化をもとに考える学習活動が【見方・考え方】に設定されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカの国々の経済とフェアトレードを考える学習活動が【地理+α】に設定されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> 課題を追究・解決する活動の充実を図ることについて、世界各地の人々の生活が場所によって異なる理由を考える学習活動が【章の問いに答えよう】に設定されている。</p>
4 分量・装丁表記等			<p>⑲ <input type="checkbox"/> 『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はAB判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>

【資料Ⅱ】

教科種目名《社会(地理的分野)》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『もっと解説』に、資料活用の仕方が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『地理の技』に掲載されている。
帝国	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『解説』に、資料活用の仕方が『技能をみがく』に掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、学習内容に関連する語句の説明が『用語解説』に、資料活用の仕方が『スキルUP』に掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、アフリカ州ではどのような支援が必要かを話し合う学習活動が【みんなでチャレンジ】に、世界ではどのような姿をしているのかを話し合う学習活動が【探究課題】に設定されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、世界の諸地域の他地域との結びつきや州の特徴を考える学習活動が【章を見通した学習課題】に、アマゾン川の開発の様子を振り返りながら変化を説明する学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。
帝国	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、持続可能な観光の在り方考える学習活動が【アクティブ地理AI】に設定されている。また、考えを整理する方法が『思考ツールを活用しよう』に掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、EUの統合が進むことによる影響と課題を考える学習活動が【自分の考えをまとめよう】に、世界や日本の姿を説明するポスターを作る学習活動が【編の問いに答えよう】に設定されている。
③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮	
東書	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、都道府県の境界に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【もっと知りたい!】に設定されている。また、学習した用語を解説した内容が『もっと解説』に掲載されている。
教出	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、近畿地方や中部地方に関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【持続可能な社会に向けて】に設定されている。また、地理で学習したことが生活で活用されている内容が『地理の窓』に掲載されている。
帝国	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、中央アジアや西アジアに関連する内容を取り上げ、地域の特色を考察する学習活動が【未来に向けて】に設定されている。また、緯度や経度に関連した事例を紹介する内容が『地理プラス』に掲載されている。
日文	「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、日本の領域に関連する内容を取り上げ、その特色を考察する学習活動が【地理+α】に設定されている。また、章で学習した内容をもとに地域的課題を議論する内容が『議論してみよう』に掲載されている。

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。	
(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)	
東書	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『防災・減災に向けた取り組みと課題』や『記憶の継承と地域づくり』に掲載されている。
教出	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災の経験を未来に生かす』や『災害から身を守るために』に掲載されている。
帝国	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『自然災害から命を守ろう』や『自然災害に対する備え』に掲載されている。
日文	[思いやる力]の「いのちの大切さ」について、災害から暮らしを守るための取組が『震災からの復興と災害に強い地域づくり』や『災害にそなえるために』に掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。	
(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力、消費者教育 など)	
東書	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信網の普及を扱った内容が『通信網の発達と生活の変化』や『人・物・情報で結ばれる地域と世界』に掲載されている。
教出	[たくましく生きる力]の「情報化」について、情報通信技術 (ICT) の発達を扱った内容が『交通・通信による結びつき』や『地域おこしの知恵』に掲載されている。
帝国	[たくましく生きる力]の「情報化」について、高速通信網の整備を扱った内容が『日本の交通網・通信網』や『通信網を生かした地域おこしの取り組み』に掲載されている。
日文	[たくましく生きる力]の「情報化」について、通信情報技術 (ICT) の進歩を扱った内容が『交通・通信からみた日本の地域的特色と地域区分』や『交通・通信を生かした農業・漁業』に掲載されている。
⑥ [社会とかかわる力] 社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。	
(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動、環境教育、シチズンシップ教育 など)	
東書	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【持続可能な地域の在り方】に設定されている。また、他国で生活し、日本の文化を現地に広める日系人の様子が『もっと知りたい!』に掲載されている。
教出	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。また、過疎や高齢化の課題への取組が『住み続けられる地域づくり』に掲載されている。
帝国	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域のあり方】に設定されている。また、JICAから派遣された技術者がアフリカで農業技術の指導を行う様子が『発展に向けた取り組み』に掲載されている。
日文	[社会とかかわる力]の「地域貢献活動」について、地域の課題を見つけ、調べ、対策を考え、発表する学習活動が【地域の在り方】に設定されている。また、JICAから派遣された技術者がアフリカで栽培指導を行う様子が『さまざまな国際協力の試み』に掲載されている。

3 内容と構成

- 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『課題をつかむ』『課題を追究する』『課題を解決する』に掲載されている。また、小学校での学習をもとにクイズカードを作る学習活動が【導入の活動】に設定されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す4つのステップが『導入』『…をながめて』『本編』『学習のまとめと表現』に掲載されている。また、問題を解決するために必要なことをグループで話し合う学習活動が【学習したことを活用してまとめよう】に設定されている。
帝国	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す2つのステップが『単元の見通し』や『単元の振り返り』に掲載されている。また、産業の発達と地域への影響を表す写真を選びその理由をグループで話し合う学習活動が【節の問いについて、考えを深めよう】に設定されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、単元の学習内容に見通しを示す3つのステップが『問いを立て、学習を見通す』『問いを追究する』『まとめ、ふり返る』に掲載されている。また、経済発展の地域格差や都市問題の課題を整理し解決策をグループで話し合う学習活動が【議論してみよう】に設定されている。
⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮	
(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)	
東書	カリキュラム・マネジメントについて、大気動きと日本の天気といった理科との関連が『他分野・他教科との関連を図った学習』のマークに、世界地図について他分野との関連が『もっと知りたい!』に掲載されている。
教出	カリキュラム・マネジメントについて、地球環境問題といった理科にかかわる内容が『関連』に、衣服のリユース・リサイクルといった家庭科に関連する内容が『地理の窓』に掲載されている。
帝国	カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野、数学科で学ぶ事項が『小学校・歴史・公民・他教科との関連』『正の数・負の数(数学)』『防災(小・歴・公)』に掲載されている。
日文	カリキュラム・マネジメントについて、小学校や他分野で学ぶ内容が『小学校の学習や歴史や公民の学習とのつながり』のマークに、道徳科と関連した内容が『持続可能な地域をめざして』に掲載されている。

- 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、日本のイメージを伝える手紙を書く学習活動が【みんなでチャレンジ】に設定されている。また、魅力的な地域の将来像を広く発信するための手順が『地域のこれからの提案し、発信しよう』に掲載されている。
教出	言語能力の育成について、中国・四国地方の学習をバタフライチャートにまとめる学習活動が【学習したことを振り返ろう】に設定されている。また、地域のあり方について調べたことがらを発表する手順が『調査結果を地域に伝えよう』に掲載されている。
帝国	言語能力の育成について、アフリカ州の課題解決に向けて最優先で行う取組を考え、発表する学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、地域の課題解決を図り、社会に向けて発信する手順が『解決策と魅力を高める提案をしよう』に掲載されている。
日文	言語能力の育成について、関東地方における一極集中の課題を解決するためディベートをする学習活動が【議論してみよう】に設定されている。また、よりよい地域の将来像を発信し、社会に参画する手順が『構想した内容を発信しよう』に掲載されている。
⑩ 伝統や文化に関する教育の充実	
東書	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な生活・文化はどのように現代に生かされているかを考える学習活動が【伝統行事と生活・文化】に設定されている。また、アイヌ文化と北海道各地の地名との関わりが『未来にアクセス』に掲載されている。
教出	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の祭りにはどのような背景があるのかを考える学習活動が【現代に生きる地域文化】に設定されている。また、京都の歴史的街並みの変化が『京都の街並みと伝統文化』に掲載されている。
帝国	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統的な祭りや行事と人々の生活との関連を考える学習活動が【伝統行事と生活や文化の変化】に設定されている。また多様な文化を大切に作る取組が『自然と共に生きるアイヌ民族を例に』に掲載されている。
日文	伝統や文化に関する教育の充実について、東北地方の伝統文化や伝統産業がどのように変化しているかを考える学習活動が【伝統文化の維持と革新】に設定されている。また、アイヌ民族の文化を未来に継承する運動が『自然環境との共生をはかるために』に掲載されている。
⑪ 体験活動の充実	
東書	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調査するための準備を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域の課題を調べ解決方法を考える学習活動が【地域調査の方法を学ぼう】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『地域調査の手引き』に掲載されている。
帝国	体験活動の充実について、学校周辺の地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査のしかた】に設定されている。また、野外調査の際に必要な技能が『技能をみがく』に掲載されている。
日文	体験活動の充実について、自分たちが住んでいる地域を調査し、その特色を考える学習活動が【地域調査の手法】に設定されている。また、野外観察の際に必要な技能が『スキルUP』に掲載されている。
⑫ 学校段階間の円滑な接続	
東書	学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校で学んだ学習内容が『小学校の社会で習ったことば』に、GIS（地理情報システム）を取り上げた高等学校の地理総合につながる学習が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	学校段階間の円滑な接続について、小学校での学習を振り返る内容が『地理にアプローチ』に、3分野の学習のあらましとそれらの関係を示した図が『地理の学習を始めるにあたって…』に掲載されている。
帝国	学校段階間の円滑な接続について、小学校の社会科で学んだ事柄と3分野との関連が『地理的分野の学習の全体像』に、学習内容に関連した小学校で学ぶ事項が『小学校・歴史・公民・他教科との関連』に掲載されている。
日文	学校段階間の円滑な接続について、各章のはじめに小学校での既習事項が『小学校で学習した内容』に、ページ下部に学習内容と関連した小学校で学ぶ事項が『マーク』に掲載されている。

⑬ 情報活用能力の育成	
東書	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【資料から発見！】に設定されている。また、写真の読み取り方といった基礎的・基本的な技能の習得が『スキル・アップ』に掲載されている。
教出	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【THINK！】に設定されている。また、新旧の地形図を比べるといった資料の扱い方が『地理の技』に掲載されている。
帝国	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【やってみよう】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。
日文	情報活用能力の育成について、地図やグラフから共通点や変化を読み取る学習活動が【スキルUP】に設定されている。また、資料を読み取る際の視点が『資料活用』に掲載されている。
⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫	
東書	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習過程における動機づけや考える道すじがキャラクターによるつぶやきに、1時間の学習の流れを可視化する取組が『本文ページの構成と学び方』に掲載されている。
教出	生徒の学習上の困難さへの対応について、学びの道すじが、学習のまとまりごとにキャラクターのつぶやきに、資料と本文の関連が『資料ナンバー』に掲載されている。
帝国	生徒の学習上の困難さへの対応について、社会への興味・関心を広げ、学習の道すじを示す内容が『とびら』に、学習課題をつかむための内容が各キャラクターのつぶやきに掲載されている。
日文	生徒の学習上の困難さへの対応について、学習課題をつかむための内容が『キャラクターのつぶやき』に、見方・考え方を視覚的に解説したイラストが『地理的な見方・考え方を働かせてみよう！』に掲載されている。
⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【チェック＆トライ】や【D-MOVE】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
教出	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【まなびリンク】や【中学社会クイズ】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
帝国	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【図解アニメーション】や【見通しスライド】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
日文	生徒の理解が深まる構成について、1人1台端末を活用できる学習活動が【ポートフォリオ】や【イントロダクションムービー】に示され、動画などにつながる二次元コードが掲載されている。
⑯ 生徒が、各分野における「社会的な見方・考え方(地理的な見方・考え方、歴史的な見方・考え方、現代社会の見方・考え方)」を働かせる学習ができるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界各地の人々の生活に関する内容をもとに考える学習活動が【世界旅行を企画しよう】に設定されている。また、学習を進めていく際の視点や方法が『地理のミカタ』に掲載されている。
教出	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、世界の諸地域の結びつきや特徴をもとに考える学習活動が【見方・考え方をはたらかそう】に設定されている。また、学習を進めていく際の視点や方法が『地理の学習を始めるにあたって…』に掲載されている。
帝国	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、人々の生活と環境に関して学んだ内容を生かして振り返る学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、地域の学習を進めていく際の視点や方法が『地理的な見方・考え方』に掲載されている。
日文	生徒の社会的な見方・考え方を働かせる学習について、地域の自然環境の中で生きる人々の生活の工夫や変化をもとに考える学習活動が【見方・考え方】に設定されている。また、学習を進めていく際の視点や方法が『地理的な見方・考え方って？』に掲載されている。

⑩ 社会的事象について生徒が多面的・多角的に考察、構想し、表現するための工夫や配慮がなされているか。	
東書	多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカ州の開発と環境保全を考える学習活動が【探究課題】に設定されている。また、複数の視点での資料活用が『資料から発見!』に掲載されている。
教出	多面的・多角的に考察し、表現することについて、南アメリカで自然破壊や都市の人口増加が進むことによる課題を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。また、視点を交えて捉えなおす資料が『クロスロード』に掲載されている。
帝国	多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカ州では特定の物産に頼る経済の影響を考える学習活動が【学習を振り返ろう】に設定されている。また、複数の視点から課題を捉えなおすヒントが『アクティブ地理AL』に掲載されている。
日文	多面的・多角的に考察し、表現することについて、アフリカの国々の経済とフェアトレードを考える学習活動が【地理+α】に設定されている。また、課題を捉えなおす複数の資料が『持続可能な地域をめざして』に掲載されている。
⑪ 課題を追及・解決する活動の充実を図るための工夫や配慮がなされているか。	
東書	課題を追及・解決する活動の充実を図ることについて、日本の地域的な特色を考える学習活動が【探究のステップ】に設定されている。また、単元のはじめに探究課題の見直しを持つための観点が『探究課題は?』に掲載されている。
教出	課題を追及・解決する活動の充実を図ることについて、関東地方の特色を考える学習活動が【学習のまとめと表現】に設定されている。また、地球的課題の解決に向けた問いが『クロスロード』に掲載されている。
帝国	課題を追及・解決する活動の充実を図ることについて、地域に適した再生可能エネルギーを考える学習活動が【アクティブ地理AL】に設定されている。また、単元のはじめに立てた学習課題を振り返る手立てが『節の問い』に掲載されている。
日文	課題を追及・解決する活動の充実を図ることについて、世界各地の人々の生活が場所によって異なる理由を考える学習活動が【章の問いに答えよう】に設定されている。また、単元のはじめに自ら問いを立てる手順が『節の問いを立てよう』に掲載されている。

4 分量・装丁・表記等

⑫ 各内容の分量とその配分は適切であるか。	
東書	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
教出	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
帝国	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』『地域のあり方』の全4部で構成されている。
日文	学習内容ごとに本文、資料などが、見開き2ページでまとめられている。『世界と日本の地域構成』『世界のさまざまな地域』『日本のさまざまな地域』の全3編で構成されている。
⑬ 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	判型はA B判が採用されている。
教出	判型はA B判が採用されている。
帝国	判型はA B判が採用されている。
日文	判型はA B判が採用されている。
⑭ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。	
東書	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』と表記されている。
教出	『見やすさ・読みやすさに配慮したユニバーサルデザインフォントを使用しています。』『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。
帝国	『特別支援教育やユニバーサルデザイン (UD) の観点から、色覚特性に配慮した色づかいとなるよう工夫しています。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
日文	『より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する主な文章や写真・グラフ等の掲載

東書	<p>31ページ 『日本の都道府県と県庁所在地』（多摩川を境にした神奈川県と東京都の写真）</p> <p>175ページ 『産業から見た日本の特色』（第三次就業者数の県別割合に「神奈川県」）</p> <p>182ページ 『日本の発電所を見てみよう』（横浜火力発電所の写真）</p> <p>232ページ 『関東地方』（神奈川県の記事）</p> <p>233ページ 『関東地方をながめて』（うめ立て地が広がる臨海部として横浜市の写真）</p> <p>234ページ 『関東地方をながめて』（横浜港の写真）</p> <p>237ページ 『世界や日本と結びつく東京』（都道府県別の在留外国人数の割合に「神奈川県」）</p> <p>238ページ 『通勤・通学で結びつく東京大都市圏』（東京23区への通勤・通学者の資料に「神奈川県」）</p> <p>239ページ 『通勤・通学で結びつく東京大都市圏』（東京周辺の地価と鉄道網の資料に「横浜みなとみらい21」）</p> <p>240ページ 『人や物が集まる大消費地の関東地方』（インターネット通販販売会社の配送センターとして川崎市の写真）</p> <p>241ページ 『人や物が集まる大消費地の関東地方』（関東地方の野菜産地の広がり資料に「三浦半島」）</p> <p>270ページ 『課題をとらえ、問いを立てよう』（インターネット通販販売会社の配送センターとして川崎市の写真）</p>
教出	<p>162ページ 『日本の人口密度の分布』（地図上に川崎市、横浜市、相模原市）</p> <p>167ページ 『日本の工業地帯・工業地域と出荷額の割合』（京浜工業地帯の中に神奈川県）</p> <p>227ページ 『日本の主な工場産業と伝統的工芸品産地の分布』（地図上に箱根寄木細工）</p> <p>231ページ 『日本の主なブランド茶』（地図上に足柄茶）</p> <p>238ページ 『東京大都市圏にみる地価の比較』（図中に横浜市港北区、川崎市宮前区、相模原市）</p> <p>239ページ 『長距離通勤をする、横須賀市に住む中野さん』（横須賀市の説明）</p> <p>240ページ 『臨海部に広がる工業地域と内陸部に広がる工業地域』（臨海部に広がる工業地帯として横浜市の図）</p> <p>241ページ 『関東地方の周辺の主な都市で消費される野菜の生産地』（キャベツとだいこんのグラフに神奈川県）</p> <p>242ページ 『日本の主な港の貿易額』（地図上に川崎港と横浜港）</p>
帝国	<p>22ページ 『都道府県』（地図上に神奈川県）</p> <p>140ページ 『山がちな日本の地形』（写真「箱根町」）</p> <p>144ページ 『日本の気候』（写真「鎌倉市」）</p> <p>151ページ 『ハザードマップを使って避難先を考えよう』（ハザードマップ、写真「鎌倉市」）</p> <p>152ページ 『日本の人口』（地図上に神奈川県と県内の地名）</p> <p>159ページ 『日本の産業』（地図上に神奈川県）</p> <p>161ページ 『電子商取引の急増と買い物の変化』（写真「川崎市」）</p> <p>233、234ページ 『関東地方』（地図上、写真、イラストに神奈川県と県内の地名）</p> <p>236ページ 『関東地方の自然環境』（箱根山、三浦半島の表記）</p> <p>240、241ページ 『東京大都市圏の課題と対策』（地図上に神奈川県と県内の地名、写真「横浜市」）</p> <p>242ページ 『工業地域の変化と第3次産業の発達』（地図上に神奈川県と県内の地名）</p> <p>245ページ 『大都市周辺の農業と山間部の過疎問題』（地図上に神奈川県と県内の地名）</p>
日文	<p>145ページ 『日本の人口密度と主な都市の分布』（地図上に県内の都市名）</p> <p>152ページ 『避難所のようす』（厚木市）</p> <p>156ページ 『日本の人口密度と主な都市の分布』（地図上に県内の都市名）</p> <p>159ページ 『電気自動車を充電しているようす』（横浜市）</p> <p>161ページ 『第3次産業人口の県別割合』（地図上に神奈川県）</p> <p>223ページ 『輸送機械工業の出荷額の多い県』（グラフに神奈川県）</p> <p>227ページ 『軽井沢町への地方別転入者数』（グラフに神奈川県）</p> <p>235ページ 『世界最大級の規模の中華街である横浜中華街』</p> <p>241ページ 『新しい線路を走る電車の開業初日のようす』（横浜市港北区）</p> <p>244ページ 『京浜工業地帯』（川崎市・横浜市）</p> <p>288ページ 『移住者が感じる宮崎市の「魅力」』（表に神奈川県）</p> <p>296ページ 『日本の県別資料』</p>

② 一冊ごとの重量（g）

	冊数	重量（g）
東書	1	550
教出	1	598
帝国	1	588
日文	1	596